

事務連絡
令和8年1月7日

各 都道府県 障害保健福祉・児童福祉主管部（局） 御中
市区町村

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部障害福祉課

「障害福祉現場における生産性向上推進フォーラム～
ケアの充実のために～」の開催について（周知依頼）

日頃より、障害保健福祉行政の推進につきまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、令和7年度障害者総合福祉推進事業「障害福祉現場の生産性向上に向けた調査研究事業」において、「障害福祉現場における生産性向上推進フォーラム～ケアの充実のために～」が開催されることとなりました。

本事業では、障害福祉における「ケアの充実のための生産性向上」について、「支援者一人一人の力を引き出し、チームでその力を利用者に届けることで、新たな価値を生み出すこと」と位置づけ、「生産性向上」の考え方や取組について整理を行っています。

本フォーラムは、「ケアの充実のための生産性向上」の考え方や、その背景、そして「何のために取り組むのか」を中心に、有識者および参加者が共に考える場とすることを予定しています。

つきましては、別添の開催要項を御確認のうえ、関係者への周知に協力ください。なお、フォーラムの詳細につきましては、別添の開催要項及びチラシを御参照ください。

【フォーラムに関する問合せ先（事業実施主体）】

株式会社NTTデータ経営研究所
ライフ・バリュー・クリエイションユニット
障害福祉現場における生産性向上推進フォーラム 事務局
E-mail：shougai-seisansei@nttdata-strategy.com
Tel：03-5213-4223（対応時間 10:00～17:00）
フォーラム専用サイト：<https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/event/s-seisan-forum2025/>

【担当者】

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課
磯谷、友澤
Tel：03-5253-1111（内線3032）

厚生労働省 令和7年度 障害者総合福祉推進事業 障害福祉現場の生産性向上に向けた調査研究事業
障害福祉現場における生産性向上推進フォーラム～ケアの充実のために～ 開催要綱

1. 背景

障害福祉を取り巻く環境は、人材の確保・定着の難しさ、利用者ニーズの多様化・複雑化などにより、年々変化しています。こうした中で、限られた時間や人材といった資源のもとでも、ケアの質を維持・向上させ、安定的にサービスを提供していくことが、障害福祉現場における重要な課題となっています。

現場では、支援者が日々、利用者のことを思いながら丁寧にケアにあたっていますが、「もっとケアを充実させたい」と考えていても、時間や職員数の制約から、十分に対応しきれない状況も見られます。こうした状況を踏まえ、支援者一人ひとりが持つ専門性や経験、思いといった「力」を引き出し、チームとしてよりよいケアにつなげていく視点が、これまで以上に求められています。

このような考え方の一つとして、「生産性向上」は、単なる業務効率化ではなく、支援者の力を活かしながら、ケアをより充実させていくための取組として捉えることができます。一方で、その趣旨や取組の位置づけについては、現場において必ずしも共通の認識が形成されておらず、まずは基本的な考え方を丁寧に共有していくことが必要とされています。

2. 目的

本フォーラムは、障害福祉現場における「ケアの充実のための生産性向上」について、その基本的な考え方を整理し、障害福祉に関わる関係者が共通の理解のもとで取組を検討していくための基盤づくりを目的として開催します。

あわせて、整理整頓や業務の見直し、職員同士の勉強会や日々の支援を振り返る対話など、現場で行われている様々な取組を手がかりに、生産性向上の進め方や工夫、そこから生まれる効果について意見交換を行い、今後の取組を考える機会とします。

3. フォーラムのねらい

本フォーラムを通じて、生産性向上を単なる業務効率化として捉えるのではなく、支援の質を高め、支援者一人ひとりが力を発揮しやすい環境を整えるための考え方として理解してもらうことをねらいとします。

また、生産性向上の取組は、画一的な方法を導入するものではなく、それぞれの現場の状況や課題に応じて工夫しながら進めていくことができるものであることを共有し、参加者が自らの現場における取組を検討するきっかけとなることを目指します。

開催日程	2026年3月9日(月) 13:00～16:00 (12:30 開場)
開催方法	ハイブリッド開催(会場とオンライン) ※後日、アーカイブ配信予定
開催地 (会場)	JA 共済ビルカンファレンスホール (東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 1F)
定員 (先着順)	・ 会場参加 280名 ・ オンライン 800名
費用	無料

<p>対象者</p>	<p>【対象者】 <u>障害福祉現場における生産性向上にご関心のあるすべての方</u></p> <p><想定する対象者について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービス事業所の現場職員、管理者、経営者 ※ 生産性向上の取組を未着手の方もぜひご参加ください ・ 自治体 ・ 障害福祉に関する団体 ・ コンサルタント、伴走支援者 ・ 生産性向上に係る機器・システムの開発企業 等
<p>申込・ 公式 HP</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お申込締切 2026年3月2日(月) ・ お申込は以下の「参加申込フォーム」よりお申込ください。 ※会場参加は1名ずつ、オンライン参加は1アカウントずつお申込ください <p>「参加申込フォーム」(二次元コード)</p> <div style="text-align: center;">  <p>《《 二次元コードをクリックまたは読み取ってください</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細は、公式ホームページをご覧ください。 <p>「公式ホームページ」(二次元コード)</p> <div style="text-align: center;">  <p>《《 二次元コードをクリックまたは読み取ってください</p> </div>
<p>フォーラム 当日 参加方法</p>	<p>【会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会場参加をお申込の方は、直接会場にお越しください。 <p>【オンライン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「Zoom」での開催を予定しています。 ・ 申込者には、開催1週間前を目途に、お申込いただいたメールアドレス宛に、参加 URL をお送りします。

お問合せ (事務局)	<p>・本フォーラムに関し、ご不明な点がある方はホームページの【FAQ】へ、よくあるご質問への回答を掲載しておりますのでご参照ください。</p> <p>「障害福祉現場における生産性向上推進フォーラム」事務局 株式会社 NTT データ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット 担当: 芦澤、保坂、篠原、奈良</p> <p>E-mail: shougai-seisansei@nttdata-strategy.com (お問い合わせの際は、所属先・お名前・連絡先・お問い合わせ内容を明記のうえ、件名に必ず「問い合わせ」と記載してください。) TEL: 03-5213-4185 (平日 10:30-16:30) ※13:00-14:00 を除く</p> <p>※ <u>申込後のキャンセルについては、会場参加の場合のみ、ご連絡をお願いします。</u> ※ 電話でのお問い合わせは、対応までにお時間を要する場合があります。可能な限り、<u>メールでのお問い合わせ</u>にご協力ください。</p>
---------------	---

2. プログラム

項目	時間	内容
開場	12:30	
開会	13:00-13:05 (5分)	開会挨拶 株式会社 NTT データ経営研究所
1. 障害福祉現場における生産性向上の政策動向	13:05-13:15 (10分)	政策動向説明 厚生労働省
2. 障害福祉現場における生産性向上とは	13:15-13:45 (30分)	障害福祉現場における生産性向上とは 生産性向上に取り組む事例紹介 株式会社 NTT データ経営研究所
3. パネルディスカッション① なぜ今、生産性向上なのか ～『基本的な考え方』に込めた メッセージ～	13:45-14:45 (60分)	有識者によるパネルディスカッション ※下記登壇者参照
4. 休憩	14:45-14:55 (10分)	
5. パネルディスカッション② 現場からひろがる生産性向上 ～みんなでつくる、 よりよい支援のかたち～	14:55-15:55 (60分)	有識者によるパネルディスカッション ※下記登壇者参照
閉会	15:55-16:00 (5分)	事務連絡・閉会

※プログラム・時間配分は一部変更する可能性があります。ご了承ください。

<登壇者(予定)>

- ・ 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課
- ・ 株式会社 NTT データ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット

【パネルディスカッション①】※五十音順

- ・ 株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田大啓
- ・ 学校法人 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 准教授 新藤健太
- ・ 一般社団法人 スローコミュニケーション 理事長
植草学園大学 副学長 野澤和弘
- ・ 社会福祉法人 フラット 理事長 林晃弘
- ・ 一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局員 東祐二

【パネルディスカッション②】※五十音順

- ・ 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
社会福祉法人 清心会 総務部係長 浅見秀俊
- ・ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国身体障害者施設協議会 人材・広報委員長
社会福祉法人 和松会 清松園 施設長 大塚さおり
- ・ 全国社会就労センター協議会 常任協議員
社会福祉法人 光明会 理事長 小澤啓洋
- ・ 一般社団法人 全国児童発達支援協議会 理事
認定 NPO 法人 発達わんぱく会 理事長 小田知宏
- ・ 一般社団法人 全国介護事業者連盟 副理事長
障害福祉事業部会 会長 中川亮

以上

障害福祉現場における

生産性向上推進フォーラム

～ケアの充実のために～

2026. **3.9** (月)

13:00～16:00 (開場 12:30)

開催概要

障害福祉現場では、支援者が利用者一人ひとりに思いを寄せながら、日々のケアに取り組んでいます。しかし、限られた時間や人員の中では、「もっとケアを充実させたい」と考えていても、思うように実現できない場面も少なくありません。

このような状況だからこそ、支援者一人ひとりの力を引き出し、チームとして利用者に届けることで、ケアをより充実させていく必要があります。これが「ケアの充実のための生産性向上」の取組です。本フォーラムでは、生産性向上の基本的な考え方や、取組が必要とされる背景、何のために取り組むのかという点を中心に、有識者と参加者の皆様が一緒に考えます。

障害福祉現場を、より魅力的で持続可能なものにしていくための第一歩として、ぜひご参加ください。

開催方式 ハイブリッド形式 (会場+Zoom)

会場 JA共済ビル カンファレンスホール
東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル1F

定員 会場 280名
Zoom 800名

申込

こちらの申込フォームより
お申し込み下さい。



[https://6f26d4d1.form.kintoneapp.com/
public/shougai-forum](https://6f26d4d1.form.kintoneapp.com/public/shougai-forum)



締切

2026.3.2 (月)

問い合わせ

障害福祉現場における生産性向上推進フォーラム事務局
株式会社NTTデータ経営研究所
ライフ・バリュー・クリエイションユニット

✉ shougai-seisansei@nttdata-strategy.com

ホームページはこちら



プログラム

1	開会挨拶	
2	障害福祉現場における生産性向上の政策動向	厚生労働省
3	障害福祉現場における生産性向上とは	株式会社NTTデータ 経営研究所
4	パネルディスカッション① 「なぜ今、生産性向上なのか －『基本的な考え方』に込めたメッセージ－」	パネリスト ※下記参照
5	休憩	
6	パネルディスカッション② 「現場からひろがる生産性向上 －みんなでつくる、よりよい支援のかたち－」	パネリスト ※下記参照
7	閉会挨拶	

パネリストのご紹介

<パネルディスカッション①>

「なぜ今、生産性向上なのか
－『基本的な考え方』に込めたメッセージ－」

株式会社TRAPE 代表取締役	鎌田 大啓
学校法人 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 准教授	新藤 健太
一般社団法人 スローコミュニケーション 理事長 植草学園大学 副学長	野澤 和弘
社会福祉法人 フラット 理事長	林 晃弘
一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局員	東 祐二

<パネルディスカッション②>

「現場からひろがる生産性向上
－みんなでつくる、よりよい支援のかたち－」

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 社会福祉法人 清心会 総務部係長	浅見 秀俊
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国身体 障害者施設協議会 人材・広報委員長 社会福祉法人 和松会 清松園 施設長	大塚 さおり
全国社会就労センター協議会 常任協議員 社会福祉法人 光明会 理事長	小澤 啓洋
一般社団法人 全国児童発達支援協議会 理事 認定NPO法人 発達わんぱく会 理事長	小田 知宏
一般社団法人 全国介護事業者連盟 副理事長 障害福祉事業部会 会長	中川 亮

問い合わせ

障害福祉現場における生産性向上推進フォーラム事務局
株式会社NTTデータ経営研究所
ライフ・バリュー・クリエイションユニット

✉ shougai-seisansei@nttdata-strategy.com

ホームページはこちら

